

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38770
事業名	全国消防救助技術大会開催費					
評価担当課	所 属	消)総務部 総務課			電話番号	011-215-2010
施策名	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	全国消防救助技術大会は、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として、昭和47年から政令市又は中核市の持ち回りで毎年開催されている。札幌市での開催は平成8年及び平成18年に開催されて以来17年ぶりとなる。近年では、防火・防災の体験型のイベントを幅広く実施し、市民等に対する消防行政のPRを行うことにより、地域防災力の向上につなげることを図っている。
	事業内容(何を実施し)	大会開催前には、ちらし及びポスターの頒布、大会専用ホームページの公開、SNSでの広報、駅前通地下広場でのパネル展示、JRタワーコンコースへの横断幕の設置、札幌市消防音楽隊演奏会での広報、民間企業との協定によるオリジナルティッシュボックスの作成及び報道機関など各種広報媒体での広報活動により、札幌市民を対象とした広報のみでなく、道内及び道外に向けた広報を広く展開した。 令和5年8月25日(金)、札幌市消防学校(札幌市西区八軒10条西13丁目)及び平岸プール(札幌市豊平区平岸5条14丁目)において本大会を開催し、全国各地の消防本部から集まった救助隊員905人により、日頃の訓練の成果として消防救助技術が披露され、また、その様子をYouTubeによりライブ配信した。さらに、会場内では、消防車両の展示、放水体験、救助衣・防火衣の着用体験、防災パネル展示(北海道胆振東部地震の記録)、VR機器による災害体験、札幌市消防局消防科学研究所の一般公開、北海道消防連携音楽隊による特別演奏などのイベントを実施し、防火・防災に係る普及啓発を行った。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	引き続き消防行政PRを進め、地域防災力の向上を推進していく。
	他都市の状況	平成29年は宮城県仙台市、令和元年は岡山県岡山市、令和2年及び3年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止、令和4年度は東京都立川市で開催された。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	1,039 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	3,343 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	2,206 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工
令和6年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	大会の広報媒体を活用したPR活動				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3回	20回	25回			
	↓						
	アウトカム成果指標1	大会への来場者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0円	9,000人	9,200人			
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	効果的な各種広報活動の実施により市民等に本大会が広く認知され、指標を達成することができた。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	来年度以降、現時点で開催の予定なし。